

# 日本酒探訪会

## 現地視察が学びの場

### 会員の親睦を兼ねた勉強会

NPO 法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾のアドバンスドコースにおいては、データ分析だけではなく、現地視察を通じて課題整理を行い、課題への対応方策を検討している。

アドバンスドコース終了後にも、新たな「現地視察による交通とまちづくりのあり方」の学びの場づくりの提供と会員の親睦を目的として、再生塾日本酒探訪会を設立した(参加資格は、アドバンスドコース受講経験者)。

#### キーワードは日本酒

日本酒探訪会では、我が国の食文化の一つである「日本酒」をキーワードにした現地視察型勉強会を平成29年4月から令和2年2月まで10回開催している。



酒蔵は、地域の拠点・住民の誇り

勉強会では、公共交通を利用した酒蔵巡りを中心に、地域の歴史・文化、まちづくりのポイントとなる史跡、建築物、旧街道・鉄道駅などを探訪する。勉強会を通じて、地域の食と触れ合うことの重要性を再認識し、公共交通を利用することで新たな魅力を発見している。

勉強会では、公共交通を

利用した酒蔵巡りを中心に、

地域の歴史・文化、まちづく

りのポイントとなる史跡、建

築物、旧街道・鉄道駅などを

探訪する。勉強会を通じて、

地域の食と触れ合うことの

重要性を再認識し、公共交

通を利用することで新たな

魅力を発見している。

勉強会の成果については、

会報「日本酒探訪会だより」

を作成・配布し、会員間で情

報共有することにより、継続

的な学びの場としている。

### 鍛えられる課題発見能力・考察力

参加者は、3年間で延べ91名(9名/回)に及び、酒蔵のある地域の文化やまちづくり、公共交通の再発見を行っている。

行政・民間・大学等で構成される会員からは、勉強会に参加することで、地域にふさわしい交通のあり方やまちづくりの展開方策についての考察の深化、課題発見能力の向上、まちと交通の改善に対する実践能力の向上、意見交換力の向上などの成果が表れてきているとの感想をもらっている。さらに、会の現地視察への参加者にとっては、歩行促進や健康増進という効果もある。



観察力、質問力も強化される(近江田東海道・竹内酒造にて)



現地調査は公共交通を活用

12月20(日)

2020年(令和2年)

発表者: 後藤正明

(株式会社シティプランニング)

連名者: 本田豊

(富山大学都市デザイン学部)

都市・交通デザイン学科)

連名者: 樋口一雄

(株式会社かんこう 計画部)

### KEYWORD

まちづくり

徒歩促進

鉄道利用促進

再生塾

### MM意識の普及に寄与

勉強会の開催と、会報の作成による情報の蓄積により、活動の継続に欠かせない楽しさを毎回会員間で共有している。

さらに、まちのあり方や交通の重要性などMM意識に関しては、行政、コンサルタント、交通事業者などに所属する会員各々が、普段活躍する場に応じて日本酒探訪会での学習効果を展開している。

また、人材育成を行う再生塾のアドバンスドコースをはじめとする各種セミナーへのフィードバックを通じて、再生塾参加者に対する情報提供を行うことで、MM意識の普及にも寄与している。



いつも楽しい勉強会(日本酒宴会)

## NPO 法人再生塾 セミナーのご案内

#### A 基礎編(1回完結)

初めて交通政策を担当される方や、あらためて基礎的な知識を学びたい方などを対象として、総合的な交通政策をすすめるために、実務に直結する幅広い知識をわかりやすく講義するワンデーセミナー。

#### B 議員対象セミナー(1回完結)

中心市街地の活力低下や地域公共交通の衰退に直面し、これらを解決する交通政策の基本的な考え方や先進事例、計画手法等を学びたい議員の方を対象としたワンデーセミナー。

#### C アドバンスドコース(数回連続)

基本的な考え方や基礎的な交通技術を得ている方、または数年程度の実務経験をお持ちの方を対象として、実際のフィールドでのケース・スタディを通し、数回にわたって実践的な研修を行うセミナー。

#### D 技術セミナー(1回完結)

定量的な検討力の向上を目指し、既存データへのアクセス方法、分析方法、表現方法等についてレクチャーするワンデーセミナー。

### 再生塾 日本酒探訪会だより

縮小版 VOL.1~10

記念すべき第1回の京都・伏見の酒蔵巡りから第10回兵庫・灘(東)まですべての行程を網羅。

コロナウイルス禍がなければ、行っていた秋田遠征計画も紙面に!

これを機会に、あなたも会員資格を取得しましょう。

**本日限定 30部  
無料配布中!!**